



覇 志

西門川中学校だより 第10号

令和元年9月12日発行

文責 校長 後藤 直樹

9月も2週間過ぎました。

2学期が始まると同時に、2年生は課題テスト、3年生は実力テストとテスト攻めでした。3年生はかわいそうですが、受験モードにならないと自分の行きたい高校へは行けません。厳しい現実があります。

9月に入った途端に、台風がたくさんやってきました。13、14、15号。現在、南には熱帯低気圧があり、近いうちに台風に変わると言われています。最近台風だけでなく、前線などの影響でゲリラ豪雨や突風、落雷など想定を超えた気象現象が発生しています。要注意ですね。

9月6日(金) 県の1級技能士の方々を8名お招きして「もの作り教室」を行いました。職人としての知識と技能を生徒たちに伝えてもらいました。

9月11日(水) ビブリオバトルの準備を行いました。ビブリオバトルとは、知的書評合戦、つまり本の紹介コミュニケーションゲームです。生徒には初めてのことなので、国語担当の山本先生と私で実際にバトルを行い、どんなものを体験してもらいました。次は生徒同士でやってもらいます。この活動を通して、生徒たちには表現力や発信力をつけてもらいたいものです。



「私は、職人にあこがれています。日本には昔から、優れた文化や技術があります。それを私達は、職人のDNAとして受け継いでいます。今日は2つの職種(木材工芸とミニ造園)を体験することで、それを感じ取ってみましょう。」と生徒に話しました。

その後、2つのグループに分かれて、ものづくり体験をしました。誰もが楽しそうに興味深く、集中して作業している様子を見て、職人の血は確かに日本人の中に脈々と流れていると感じた次第です。



生徒の感想

私は、人生で初めて造園をしました。作る時の順番やポイントなどをたくさん学びました。最初、目で見るときは、簡単そうに見えたけど実際にやってみたら、意外と難しく、頭の中で考えながら何回も作り直しました。出来上がったときの達成感がすごく大きかったです。難しかったけど体験してよかったと思いました。作っているうちにだんだん楽しくなってきて、時間が過ぎるのがすごく速かった気がしました。造園を広めるために家に帰ったら家族やいとこ、いろんな人に話したいです。また、また造園をやりたいと思いました。

山本先生は、古内一絵さんの「フラダン」を、私は宮部みゆきさんの「幻色江戸ごよみ」という本の紹介をしました。5分という時間は、長いようで短く、生徒に伝わるかどうかとても心配でした。ビブリオバトルの雰囲気だけでも伝わればという思いで頑張りました。



【9月後半のスケジュール】

- 9月18日(水) 学校支援訪問
- 19日(木) 学校間交流学習(門中) 2年生
- 23日(月) 秋分の日
- 25日(水) 学級・全校専門委員会
ノーマディアデー
- 26日(木) 全校集会
- 27日(金) 地区英語暗唱・弁論大会

《編集後記》 門高と門中の体育大会に行ってきました。門高は7日(土)ひどい雨でした。(そういえば、昨年も雨でした) そんな中でも生徒たちの明るく元気のよい競技や演技に頼もしさを感じました。翌日の門中は、一転して天気に恵まれました。とても暑くなりました。生徒たちは大丈夫かなと思っていましたが、汗まみれになりながら、元気に活動していました。西門小出身の生徒の活躍する姿を見ることができ、とても嬉しかったです。